

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	27	利用者の日々の様子の記録について、行動記録が多く、会話の記載が少ない。どのような思いで生活しているのか、具体的なその姿が分かりにくい。	その時の様子や、その人らしさが具体的に表現され、その言動から今の思いや、今までの記憶、その人の歴史が甦るような、感性豊かな、生き生きとした記録。ご家族へも伝わるような記録。	1.現在の記録用紙は1ページに2日分の記録の記入形式となっている 1ページに1日分の記録の記入形式に増やす。付箋を使い、印象に残ったことなどを書き留めておき、後で記録できるようにする。 2.タイトルをつけ、何が記録されているか一目で分かりやすく、読みたくなるようにする。 3.行動記録のみは中止。会話形式の記録にし、そのままの言葉・表情・動作も加え、「声かけした言葉」「利用者の反応」を記録できるように取り組む。	3ヶ月
				5.会話形式の記録が定着したら、職員のレベルに合わせて、助言や指導を実施し、一人一人が目標にもあるような記録ができるように取り組む。	6ヶ月
2	24	入所後に知り得た、生活歴などの情報の追記が少なく、まとめたものがない。	利用者がどのような人生を送ってきたか、その人の生活歴を知り、輝いていた頃、抱えていた問題(後悔)を知ることにより、現在の状態を理解し、より良いケアへと繋げ、穏やかな中でも、生き生きと生活して頂けるように取り組む。	1.生活歴シートを居室担当に配る。自分が持っている情報、利用者様から新しく伺った情報、他スタッフからの情報収集、面会時、ご家族への情報提供の働きかけを実施し、情報の記入をしていく。	1～2ヶ月
				2.入所時のフェイスシート、1年前にご家族に記入していただいた生活歴シート、今回作成したシートを合わせ、新しいシートを作成する。 3. 2で作成したシートに、更に新しい情報の追記を手書きでしていく。	3～6ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目の を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して

## 目標達成計画

事業所名 グループホーム 和楽の家 上道  
 作成日: 平成 22年 4月 24日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
3	464	地域の方々にホームへ立ち寄って頂くことがまだまだ少ない。	地域の方々が気軽に立ち寄れ、利用者様、職員とも、交流が出来る場を増やしたい。	日常生活の中の、ティータイム、畑、カラオケ、クッキングなどを含め、お話のボランティア、きっかけ作りとして、案内チラシを作成し、利用者様とご近所へ配ったり、町内会、老人会、小学校などへも案内を配布できるよう、運営推進会議でも働きかけていく。	12ヶ月
					ヶ月
					ヶ月
					ヶ月
					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目の を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。